

堂々と入場行進する長崎総合科学大付

Ⅱ駒沢陸上競技場（濱崎武撮影）



全国高校サッカー選手権開幕

長総大付が行進 きょう初戦

サッカーの第96回全国高校選手権は30日、東京・駒沢陸上競技場で開幕。都道府県代表48校（東京2校）が参加して開会式が行われ、本県代表の長崎総合科学大付も引き締まった表情で力強く入場行進した。

開幕戦は佐賀東勝つ

前回優勝の青森山田を1回戦15試合を実施。長先頭に北から南の順に入。総大付は午後2時10分、場行進。長総大付は46番目から、千葉市のフクダ電子目に登場した。開会宣言、優勝旗返還などの後、青森山田の小山内主将が「正々堂々と最後の一分一秒まで戦う」と宣誓した。開幕戦は佐賀東が関東第一（東京B）に2-0で勝った。

第2日の31日は各地で

アリーナで中京大中京（愛知）と対戦する。

（中島崇雄）

第2日

長総大付 快勝

サッカーの全国高校選 (愛知) に3-0で快勝。手権第2日は31日、千葉市で東福岡、日章学園のフクダ電子アリーナ (宮崎)、神村学園 (鹿) などで行われる15試合が行われ、本県代表の長崎総合科学大付は中京大 (北 (鳥取) など) を2回戦

中京大中京 (愛知) に3-0

【1回戦、中京大中京-長崎総合科学大付】前半17分、長総大付のDF嶋中が右足を振り抜き先制ゴールを決める=フクダ電子アリーナ (濱崎武撮影)



嶋中、起用に応え先制弾

長崎総合科学大付のDF嶋中が、小嶺監督の起用に見事に応えた。前半13分、2トップの一角として投入された3年生はわずか4分後、右足を豪快に振り抜き先制のゴールを決めた。「(ピッチに)入った時は、かましてやろうかなど思っていた」。ベンチスタートの悔しさを晴らす一発で、流れを引き寄せた。

3年前の雪辱果たす

割が多かったが、勝負どころでは前線へ上がって得点に絡んできた。小嶺監督が「どこかのポジションでも使える。パワー、シュート力がある」と認める逸材。攻守両面で持ち味の発揮し、2点目のDF小川のゴールもアシストした。試合終了間際には、J-1 C大阪入りが決まっているFW安藤もダメ押し3点目をたたき込んだ。中京大中京は、兄の翼(駒大)ら3年前の先輩たちが同じく1回戦で顔を替えていた。(中島崇雄)

合わせ、0-1で負けた因縁の相手でもある。「得点できたのはうれしいけれど、チームが勝てたのが一番」。ガッツポーズでリベンジを喜んだ。ただ、試合内容について小嶺監督は「まだまだ甘い」と消化不良の様子。主将のDF田中も「流動的に攻められた時、マークがずれてチャンスを与えていたことが課題。相手をしつかり分析して2回戦に臨みたい」と気持ちを切り替えていた。(中島崇雄)

◆GK湊大昂(3年) とが大事。昨年よりリラックスして臨めた。周りが見えて、声も掛けられた。苦しい時間帯はあったが、もう一度得点をするチャンスは来ると思っただん張った。味方を信じて守るこ

◆MF別府尊至(3年) 押し込まれる時間帯が多かったが、無失点で終わったことが大きい。全員のピッチは楽しかった。次戦はもっとボールを触ってゲームをコントロールしたい。

◆DF小川貴之(3年) 公式戦で初ゴールを決めて、すごくうれしい。先制ゴールのアシストはDF嶋中の動きが見えていた。パスを出せば決めてくれると信じていた。

◆DF諸石一砂(3年) 初戦の硬さが少し出た。守備面は、体を張ってできた。相手の攻撃はFW鎌田が起点になっていたので、抑えることを心掛けた。

に進んだ。2年連続5度目の出場となった長総大付は前半17分、DF小川のパスを受けたDF嶋中が決めて先制。その後は何度かピンチを迎えたが、DF田中、諸石らの連動した守備、GK湊の好セーブで切り抜けた。後半23分にはMF荒木の左クロスのこぼれ球を中央で拾った小川が押し込んで追加点。ロスタイムには荒木のパスを受けたFW安藤がダメ押し点を決めた。第3日は1月2日、2回戦16試合を実施。長総大付は午後2時10分から千葉市原市のゼットエーオリブスタジアムで高川学園(山口)と対戦する。(中島崇雄)

個人技で好機をつくったが、決定力を欠いた。後半は中盤でのミスが失点につながった。

東福岡なども2回戦に進出

- 【1回戦】
- 高川学園 1-0 清水桜が
 - 山口 1-0 丘 (静岡)
 - 山形 1-0 1 (PK) 3 (PK) 3 (静岡)
 - ▽得点者 高山木廉 清松
 - 日章学園 3-2 1-1 北 陸
 - (宮崎) 3-1 1-1 (福井)
 - ▽得点者 日佐藤 2 鈴木北
 - 杉村
 - 旭川実 4-2 2-1 2 宜野湾
 - (北海道)
 - ▽得点者 旭 西村 田道、山内 宜 手嶋 富田
 - 昌 平 1-0 1-1 広島宣美 (PK) 1-3

- ▽得点者 昌 佐相 正 堤
- 明秀学園 3-2 1-0 0 高知西 (宮城)
- ▽得点者 明 荒井 伊里 橋本
- 高川二 2-0 0 0 実践学園 (兵庫)
- ▽得点者 滝 稲田 福岡
- 米子北 2-1 1-1 1 山梨学院 (鳥取)
- ▽得点者 米坂田 葉田田 山加藤
- 東福岡 3-2 1-0 0 尚志 (福島)
- ▽得点者 東 沖野 福田 湧 P K 木橋
- 日本文理 2-1 1-0 0 南 (新潟)
- ▽得点者 目 久住 2 (PK) 1
- 神村学園 1-0 1 0 0 秋田商
- ▽得点者 神 高橋
- (石川) 1-0 0 0 松山工
- ▽得点者 星 西郷
- 帝京大可 3-2 1-0 0 0 徳島北 (岐阜)
- ▽得点者 帝 坂梨 久保 大森
- 仙台育英 3-2 1-0 2 高松商 (宮城)
- ▽得点者 仙 佐藤 3 高中野 横内
- 富山第一 1-0 1 0 0 0 東海大 (本庄)
- ▽得点者 富 坪井

中京大中京、岡山監督の話。うちはシュートをほぼふかして、踏み込みの部分で意志の強さの違いを感じた。1点取れば逆転できる雰囲気の時もあった。

大商学園などベスト8入り

全日本高校女子サッカー

女子選手権第2日は31日、兵庫県立三木総合防災公園などで2回戦8試合が行われ、前回準優勝の大商学園 (大阪) が前回覇者の十文字 (東京) を1-0で破り、2大会ぶりの優勝を狙う藤枝順心 (静岡) は全国高校総体を制した日ノ本学園 (兵庫) に1-0で勝って、ベスト8入りした。

